

夢へのスタートライン

岐阜市立藍川東中学校 3年

永田 倖花

皆さんは勉強が好きですか。なぜ、勉強をしないといけないと思いますか。なぜ、親や先生は勉強をしろと言うのでしょうか。

私は受験生です。今年はさらに勉強に力を入れないといけない、と思っています。私なりにどうして勉強をしないといけないのかを考えてみました。

中学校に進級して、定期テストや毎日の授業など、小学校のときとは違う大変さを感じました。中学2年生の夏休みには毎日7時間もテスト勉強をしました。しかし、夏休み後の中間テストでは思うような結果が出ず、悔しさと絶望の気持ちがあり、やっても意味がないんじゃないか、どうして勉強なんてしないといけないんだろうと思ってしまう自分もいました。

それでも、今年受験生としてさらに勉強を頑張ろうと思うのには理由があります。それは、自分の夢を叶えるためです。

私は看護師になりたいという夢があります。小学1年生のとき、入院をしました。また幼かった私は、不安で仕方がありませんでした。しかし、そのときに優しく温かく関わってくれた看護師さんのおかげで入院生活を乗り切り、今こうして元気に過ごすことができています。私はその看護師さんに憧れて、看護師になりたいという夢をもちました。看護師になるためには、中学卒業後、進学して、国家資格を取得するために勉強をしないといけません。命に係わる仕事だからこそ、簡単に取得できるものではないと思います。

以前、父に「どうして親は勉強をしろと言うの。」と聞いたことがあります。すると、父は「勉強はできないよりは出来た方がいい。そうすると、将来の選択肢が増える。その中から自分のやりたいことをできるかもしれない。うちの子には幸せになってほしいから、勉強をしろ。と言うんだよ。」と話してくれました。

私は父の「うちの子には幸せになってほしいから。」という言葉に少しの恥ずかしさと、それを超える嬉しさ、そして、「勉強する意義」という疑問さえ、すっかり晴れたように感じました。

「自分の幸せのために」勉強をすることも、勉強をする理由の一つかもしれませんが。しかし、私はもう一つ理由があると気付きました。それは、自分だけではない、「周りの人を幸せにするために」も勉強をしていかないといけないということです。私は、入院したときに関わってくださった看護師さんのおかげで今幸せに過ごせています。あの時の私のように不安を抱える患者さんに少しでも安心をしてもらえるように、元気になってもらえるように看護師としての知識や技能も身に付けていかないとはいけません。そして、どんなに重い病気の方と関わる時でも決して最後まで諦めない気持ちをもたないとはいけません。人を幸せにするためには、勉強しないといけないこと、身に付けないといけないことがたくさんあります。最後まで諦めないという気持ちも、諦めずに勉強することにつながります。

テストで思うように結果が出なかった時から、私は自分に合う勉強方法を考えています。定期テストだけに力を注ぐのではなく、日々の授業の復習や単元テストに向けての取り組みにも力を入れてきました。また、分からないことをそのままにせず、先生や仲間聞くことを大切にしています。今、私の学校では先生とだけでなく、生徒主体で仲間と学び合える雰囲気があります。自分たちで解決していくからこそ、理解するまで教え合い、互いに力が付く学びができています。

「自分の幸せのため」にも、「人を幸せにするため」にも、学んでいくことを大切にしていける私でいたい。そして、看護師になるという夢を叶え、たくさんの人を幸せにしていきたいです。